

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2012 年 11 月号 (第55号)

発行責任者 加曾利 厚雄

ところざわ倶楽部 第5期の成果と課題**—さらなる発展を目指して—**

会長 加曾利 厚雄



10月の“芋煮会”を以って今期の事業は終了しました。今期ところざわ倶楽部の関連事業は、全てのサークルが何らかの形で参画し、倶楽部の進化に貢献しました。事業を計画した理事の皆さん、協力して戴いたサークルの皆さんへ感謝の気持ちと敬意を表します。

1 第5期の成果：事業の拡大及びサークルとの連携

特筆すべき事業は「文化祭」です。音楽のジャンルで事業を行ったのは今回が初めてですし、“とことこバンド”は会員の楽器好きが集まり、練習に練習を重ねた結果ここまで出来たというものでした。

また、“北欧の会”が提案した「北欧デンマークに学ぶ福祉社会」及び“アジア研究会”が提案した追加の講演会「習近平政権：中国はどこにいくのか」は大変時宜を得たものでした。

更に、地域や倶楽部への発信源は、主として地域の自然と農業関連の3サークルの活動や傍聴席の議会のウォッチングでしたが、これらに加えて、今期は“地球環境に学ぶ会”による映画「第4の革命」上映会への参加と「山梨県の太陽光発電所」の見学会、18期により新たに結成された“地域の祭り研究会”による「地方の祭りや歌舞伎、薪能」の見学会、また、公園を楽しむ会と埼玉大学 安藤ゼミとの共催によるシンポジウム「地域で楽しむセカンドライフ」など、サークルが地域のみならず、倶楽部の内部へいろいろな角度から発信してきました。これらは、取りも直さず「サークルの活動が地域への輪を更に広げつつある」ということの証だと思えます。

一方、「ホームページが開設」できたことにより倶楽部の広報が大きく変わりました。“ソフトウェアの問題”“容量の問題”“メンテナンスの問題”“誰が記事を書いてくれるか”など多くの問題を克服しながら、2年がかりでやっと完成しました。関係者の多大な努力に改めて御礼申し上げます。

2 課題と解決の方向：退会及び事業への低い参加率

反面、倶楽部の抱える問題も多かったと思えます。理由は異なりますが、「ダースの会」と「音楽連・市民

大学派」が退会しました。

また、講演会を5回開催しましたが、いずれも参加率が芳しくありませんでした。これは、会員全員が一致して興味を持つテーマを取り上げることが困難なこと、サークルによってはサークル活動のみに専念し、他のテーマに興味を持たないことなどに原因があるものと思えます。

それでは、今後ところざわ倶楽部はどのような考え方で事業を進めたらよいのでしょうか。

以下提案をします。

(1) サークルが理事会に対して提案しやすい環境づくりを行うこと。

例：各サークルと理事会(代表者)の話し合い(4~5サークル/年程度)

(2) 講演の内容の工夫と組み合わせ(現在の話題は何か、人、内容など)タイミングなど考えること。

例：iPS細胞、原子力、新島襄・八重、村上春樹、映画鑑賞(19期がサークルを作った)等

また、単発の講演では自分の学びたい知識を満たし得ないことが多く、所属サークルの活動テーマとは異なるテーマに関し、シリーズで深く勉強が出来るような仕組みも必要かと思えます。

もちろん、現在葵の会が行っているように、テーマによってはサークルの勉強会を公開して貰い、倶楽部会員であれば誰でもが経費を負担して参加出来るようにすることも一つの案かと思えます。

(3) 常に交渉の足がかりを作っておくこと。

市民大学各期の講師の先生方にサークル活動の指導を仰ぐとともに、特別会員を委嘱するなど、倶楽部としても交流を密にしておく必要があるかと思えます。

ところざわ倶楽部も6年目を迎え、さらに進化するためにはサークルと理事会の更なる一体化が避けられず、また、会員一人ひとりが倶楽部設立の主旨を良く理解し、これを活用することが大切だと思えます。

第6期の理事の皆さんに期待します。

19期市民大学閉講式と 倶楽部サークル勧誘説明会

事業部長 若山 昭

生憎の小雨模様の天気でしたが、平成24年10月18日、午前9時30分より生涯学習推進センター・学習室201号室において、第19期所沢市民大学閉講式が厳粛な雰囲気の中、執り行われました。

いつもとは違って少し緊張気味の事務局・比留間さんの司会のもと則武所長の開式のことばのあと、講座ごとに全受講生の名前が読み上げられ、佐藤教育長よりそれぞれグループ・リーダーに修了証が授与されました。続いて、教育長から市民大学が20周年にあたることやグループワーク発表時の所感などを含む挨拶があり、多胡企画委員長を始めとする10名の企画委員への感謝状贈呈さらに皆勤賞の表彰へと続き、則武所長による閉会のことばで、滞りなく終了しました。

勢い挨拶が長くなるのが通例ですが、今回は予定の時間より30分もはやく終了しました。

閉講式修了後、「さんさん会」、「OB会」、「ところざわ倶楽部」の紹介がそれぞれ10分という時間厳守で行われましたが、他の会と比較して、加曾利会長のスラ

イドを使用せずに、今日の日のために作成した「広場」号外版を中心に、新しいサークルの立ち上げに触れた話や19期の各講座ごとの発表会での印象を交えた勧誘が光っていたように思います。

修了生は、記念撮影に臨んだ後、各会等が活動展示を行っている教室を三々五々廻っておりましたが、入会については決めかねている人が多いように思います。

最後に、サークル説明会に参加されたところざわ倶楽部のメンバーの方々、お疲れ様でした。



サークル活動展示の一コマ

平成 24 年 10 月理事会報告

10月理事会は9日(月)10時から開催された。

総務部長 菅沼 庸雄

1. 加曾利会長から当面の諸課題に対する所見

- (1) 第6期の理事会名簿案が出来た。
- (2) 第5期理事会は、出席率が高く充実していた。
- (3) 第6期の年間計画を概観してみた。イベント実行への共通課題は三か月前準備の認識共有だ。
- (4) 第6期は女性の活躍、活動に期待したい。

2. 若山事業部長 から、事業部事案の諸報告

- (1) 9月歴史講演会、無事終了した。協力に多謝。
- (2) 10月イベント芋煮会の準備状況の紹介。
- (3) 第6期事業計画は新旧理事が参加して次回臨時理事会で検討の予定。
- (4) 「小鹿野歌舞伎」「サツマイモ収穫作業」のイベント紹介が担当サークルからあった。

3. 池田広報部長からは、広報部事案の諸報告

- (1) 広場10月号の紹介。総会案内、講演会報告、市政報告、サークル紹介など。
- (2) 広場11月号の企画紹介と記事の依頼。総会予告、芋煮会報告、市民大学19期閉講式など。

- (3) 市民大学19期生向けの広場特集号を準備中。

- (4) HP紹介：開設後半年で12,500件余のアクセス。現在各サークルの紹介記事を更新中、皆様ご覧を。HPの編集スタッフ不足、皆様のご理解と協力を。

4. 菅沼総務部長

- (1) 総会の準備状況 総会前イベントとして文化系3サークル活動報告を準備中。
- (2) 市民大19期生向けのサークル紹介の勧め方紹介。10月18日市民大閉講式終了後、203号室で展示。
- (3) 総会に向け、第5期の決算中間報告があった。今期は23日の芋煮会をもって締める予定。
- (4) 各サークルは、「サークル活動報告書」の次回理事会までの提出にご協力を。

5. その他

[次回理事会予告]

第6期第1回理事会 11月12(月)場所:新所沢東公民館

第6期第2回理事会 12月10(月)場所:新所沢東公民館

支え！ 学び！ 遊ぶ！ サークル活動レポート

10 月 倶楽部 事業

芋煮会大いに盛り上がる

「地域の自然を考える会」 杉浦 正紀

イベントの方は、第一部が（財）トトロのふるさと基金事務局長荻野豊さんによる「トトロの森の現状」についての講演。 タイミングよく 18 番目のトラスト地取得の新聞記事が当日の読売新聞に載り、時宜を得たお話を聞くことが出来ました。

第二部はガラッと趣向を変えて、石橋成子さんのアコーディオン演奏による懐メロの演奏と歌合唱。 倶楽部メンバーの渡辺浩平さんのウクレレ伴奏も加わり、皆さん青春時代にタイムスリップし、配られた「懐かしの歌唱集」（これも理事らが手作りした）の中から歌の数々を全員で大合唱。 この時ばかりは倶楽部メンバー全員 10 代、20 代の少年、少女時代に戻って大いに盛り上がりました。 その間、さつま芋や手作りの里芋

団子が配られビールや焼酎、ジュース等で和気藹々。 会員相互の交流も深める事が出来ました。

歌い終わってお腹も空いてきたお昼過ぎ、ようやく早朝から準備してきた芋煮汁が出来上がり全員に配られ「コロット」の昔懐かしい農家の座敷での楽しい一時を過ごす事が出来ました。

帰りにはお土産に野菜セット（水菜と小松菜）が配られ三々五々皆さん家路へつかれました。

今回の芋煮会も事前準備や買物等でサークルメンバー及びお手伝いを頂いた方々には大変ご苦勞をお掛けいたしました。

「地域の自然を考える会」「所沢の自然と農業」の皆さんには改めて御礼申し上げます。



受付風景



里芋団子・芋煮等賄いの準備



荻野豊氏のトトロの森に関する講演



石橋成子さんによるアコーディオン演奏



サツマイモを手に講演に耳を傾ける参加者



美味しい芋煮に舌鼓

「公園を楽しむ会」の活動状況

会員の増加に伴い運営要領の再検討が必要

— 季節・気象を考慮した行事の企画も —

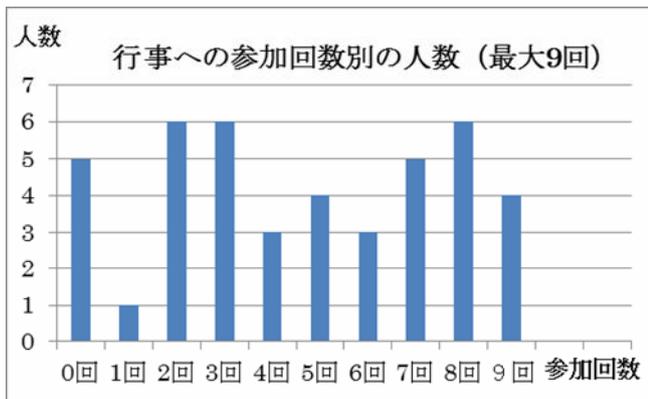
渡部 正俊

今年の活動を2、3振り返ってみます。

● 会員数が50名を越える。

サークルが出来て3年目です。会員数も当初の20名が今年は43名になり、さらに19期から新入会員が加わりましたので、50名を超えるサークルになります。会員の名前と顔が一致するまでだいぶ時間がかかりそうです。

今年は10月末までに9回行事を行っています。各行事への参加者は17名～29名で平均は23名です。参加回数の分布は図のようになっています。



これまでは特に大きな問題とはならなかったのですが、参加人数が増えた場合の対応策についても検討が必要です。

① 行動の単位をせいぜい10人～15人程度とすると、30人～40人が参加する場合には3班ぐらいに分ける必要がありそうです。

(行事担当も参加人数に比例して増やす) また懇親会の場所も一考を要します。

② 参加者の募集は詳細な案内チラシ(約1ヶ月前)ができてから行っていましたが、今後はおおよその参加人数を把握してから詳細を詰めることも必要になってきそうです

● 雨天対応の検討が必要

今年は4月と6月の行事が雨のために中止になりました。4月は航空公園とカルチャーパークを散策し、カルチャーパークのディ・キャンプ場でBBQを行う予定でした。

6月はレインボーブリッジを歩いて渡り、お台場

を散策後水上バスで葛西臨海公園に行く予定でした。天候に関しては①梅雨時期の行事は多少の雨でも行えるような場所の選定も必要②中止の場合の予備日の設定、等を検討しても良いのではと感じています。

● 会員からの成果発表

8月は定例会を開催しました。後半行事の確認に続き、会員からの研究成果発表を行いました。今回の成果発表は①地域で楽しむ家庭菜園(落合さん)②カルチャーパークについて(平塚さん)③公園を楽しむ会の原点を探る「所沢の昔の街並みは今」(加曾利さん)の発表です。

「地域で楽しむ家庭菜園」は、トトロの森12号地にほど近い自然豊かな場所で、仲間20人位と畑仕事を楽しまれているお話です。

「カルチャーパークについて」は、市民大学18期の「都市の環境」グループが取り上げた「ふるさととしての所沢～所沢カルチャーパーク」とその後活動の発表です。今も月1回カルチャーパークに集まり、1時間程度ゴミ拾いをしています。



カルチャーパーク ディ・キャンプ場

「所沢の昔の街並みは今」は、①所沢の立地条件②変化をどう見るか③旧街に残る古い建物(蔵造りなど)④旧街が繁栄した1つの理由「所沢飛白」と「湖月縮」⑤自分勝手なまとめ(所沢を再生するには)、について29枚のスライドにまとめています。公園を楽しむ会の原点を捉えた発表です。

いずれも一度聞くだけではもったいないと思う内容ばかりです。

サークルの運営に関しては定例会等を通じて皆でアイデアを出し合いたいと思います。

特別会員リレー寄稿 第8回

楽しまなきゃ損

武蔵野大学薬学部教授 阿部 和穂

1. 一期一会

私と所沢市民大学のおつきあいは、今年で5年目になります。

そのご縁の元をたどると、平成18年に私が武蔵野大学主催の市民講座を担当していたのを、財団法人いきいき埼玉のいきがい大学の方がたまたまインターネットで見つけ、面白そうだから埼玉でも話をしてほしいと依頼されたのが始まりでした。それをお引き受けして講座を開いたところ、聴講された方の中にところざわ倶楽部所属の方がおられ、今度は所沢にも来てほしいと依頼されました。かくして、平成20年3月にところざわ倶楽部主催で「自分の脳を知ろう」という講演の機会を与えていただき、さらには所沢市民大学の16期から現在(20期)まで講演やグループワークなどを担当させていただくことになりました。

偶然の出会いで世界はどんどん広がっていくのだなと改めて感じます。

2. ストレスは大敵

私の専門は脳と薬です。特に認知症の治療に役立つ薬をつくることを目標として日々研究に取り組んでいます。講演では、あまり薬の話はしないで、より身近な題材として「物忘れの原因」、「認知症予防法」などをお話してきました。その中で私が繰り返し主張してきたのは「脳の衰えを防ぐ特効薬は楽しむんだ」ということです。

私たちが物を覚えるときには「海馬」という脳の場所が働きます。海馬が障害されると、経験したことが頭に残らず記憶できなくなります。認知症の主要症状である記憶障害は、海馬の萎縮によって起こります。また海馬は、脳の中で特にストレスに弱いことも知られています。大きな災害や事件の被害者が記憶喪失になることがあります。これはストレスによって海馬がダメージを受けたために起こると考えられています。幼児期に虐待を受けた経験のある人では海馬の萎縮が認められ、それが記憶障害の原因になっているという報告もあります。ストレスは



脳の最大敵です。脳を健康に保つには、何よりも「ストレスのない暮らし」が大切です。

3. 楽しむことの効能

楽しむことが脳の働きを良くすることを支持する、より積極的な証拠もあります。私たちが物事を楽しむとき、脳の中では「ドパミン」という物質が大量に分泌されます。

ドパミンが増えると、やる気や意欲がわいてきます。ドパミンはご褒美のような役割をするので、ドパミンが働く神経を専門用語で「報酬系」と呼びます。私は、このドパミンが記憶力にどのような影響を与えるか知りたいと考え、ネズミの海馬の活動を測定する実験を行い、ドパミンを分泌する神経を活性化させた効果を調べました。すると、ドパミンの刺激によって海馬の働きが高まることが分かりました。つまり、楽しいことを経験しているときはドパミンを介して記憶力がアップすると考えられます。

ただし、楽しむとは言っても、「楽をする」とことは違います。ちょっと難しいことにチャレンジして達成できたときの方が、ドパミンはたくさん分泌されると考えられます。したがって、マンネリにならないよう、新しいことに積極的に取り組むことも大切と思われれます。

4. 理想の関係

正直申しますと、私は皆さんの前でお話をするのに少々抵抗がありました。人生の大先輩方を前にして、若輩者の私が「脳の衰えを防ぐためには〇〇しましょう」などとエラそうなことを言うべきではないと思ったからです。しかし、目を輝かせながら私の話を一生懸命聞いてくださる皆さんの姿を拝見していると、逆に私の方が「刺激」をもらっているのだなと感じることがあります。これからも、皆さんとはお互いを刺激し合う(そのことによって脳の衰えを防ぐ)関係でありたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

《地球環境に学ぶ》

エコ見学会

— 山梨県太陽光発電所 —

中島 峯生

10月12日(金)、山梨県にある太陽光発電所2ヶ所を見学してきました。

太陽光のエネルギーは、1㎡当たり1,000W(1kW)です。このエネルギーを半導体(セル)で受け電気に変える装置(変換効率10%台)が太陽光発電です。セルを組合せたモジュール(パネル)を数万枚組合せた巨大なものを発電量の単位からメガソーラーと言います。冷涼で日照時間が長い山梨県が選ばれました。

「米倉山太陽光発電所」は山梨県が住宅用に開発した広大な土地(12.5ha)を利用して、約8万枚のパネルが設置され、最大10,000kW、一般家庭3,400軒分の使用量に相当する電力を生みます。なお、発電所の運転管理は東京電力が行っています。

「ゆめソーラー館やまなし」は、山梨と太陽エネルギーゾーン、太陽光発電と蓄電システムを組み合わせ



米倉山太陽光発電所

た実機展示などもあり、エネルギーの勉強ができます。

北杜市のソーラーシステムは、平成18年から23年にかけて、NEDOが太陽光発電所システムの実験・評価に使用した、出力1,840kWの太陽光発電所です。ここでは27種類のモジュール、パネルの傾斜角度を違えたもの、太陽追尾型パネル、大容量パワーコンディショナ等の設備を展望台から見学できます。

試験終了に伴い現在は、環境日本一を目指す北杜市が譲り受け、管理運営しています。

地球温暖化防止、原発の関係などから、電力の自然エネルギーへのシフト、家庭用太陽光発電装置の導入が叫ばれている昨今、今回のエコ見学会は、大いに参考になったものと思われます。

この太陽光発電所は無料で何時でも見られます。機会がありましたら訪れてみてください。



北杜市太陽光発電所と参加者25名

《地域の自然》

循環型農業の体験

赤木 隆弘

《楽しいサツマイモ収穫作業》

「地域の自然」サークルは、狭山丘陵の緑の現状や問題点を知り、保全再生・創造活動を通じて、所沢の「緑」を将来にわたって残していくことを目的に、早稲田大学の堀大先生のご指導を仰ぎながら、同大学の雑木林を拠点に雑木林の樹木・植生調査、下草刈り、除伐など雑木林の保全再生活動を行っています。

昨年からは、里山の循環を実体験するため、雑木林の落ち葉で作った堆肥を利用した有機農業を实践しようと、同大学の一面でサツマイモ栽培を始めました。

2年目の今年は更に開墾し、そこに落ち葉堆肥を入れ、耕作地面積を昨年の2倍に拡大しました。そして、6月3日、市民の方にも参加して頂き、18畝に3種類、約250本の苗を植えました。

今回の収穫作業も市民の皆様に呼びかけ、10月20日秋晴れの下、参加者40名で収穫作業を行いました。



まず、大堀先生から「里山とサツマイモー里山の循環型」というテーマでサツマイモ作りの意味などをお話頂き、次いで調査地の雑木林を見学。その後収穫作業に入りました。収穫作業はつる刈りから始め、芋掘り作業に進みます。

作付け2年目の区画からは大きな芋がとれましたが、1年目の区画では芋ができず茎のままといった株もあり、総重量約64kg、400個でした。

当サークルの活動にご興味のある方のご連絡をお待ちしています。



サークル活動計画



11月～12月の各サークルの活動ラインアップです。興味のある活動に参加してみませんか？

<p>アジア研究会 (小椋雄二 2921-7739) 11月定例会 11月21日(水) 中央公民館8、9号学習室 午後1時30分～午後4時30分中国関係DVD鑑賞と サークル年次総会を予定 12月定例会：日時場所内容とも未定につき詳細後報</p>	<p>地域の自然 (多胡國男 2993-6143) 11月10日(土) 09時～ 定例会 調査地整備等 11月24日(土) 09時～ 定例会 調査地整備等 12月08日(土) 09時～ 定例会 調査地整備等 12月22日(土) 09時～ 定例会 調査地整備等</p>
<p>傍聴席 (高垣輝雄 2926-7164) 11月19日(月) 定例会、14時～新所沢東公民館 小泉 耕一郎さんの研究発表「所沢市連結会計3ヵ年の 決算推移」～特別会計の決算推移と担当部局への 確認事項などから色々学び考えます。</p>	<p>歴史散策クラブ (大河原功 2943-2004) 11月10日(土) ～ 秩父札所巡り 19-23番 ～ 所沢駅 飯能行ホーム最後方付近 7:45 11月17日(土) 役員会 新所沢東公民館 9:30 12月8日(土) 総会&忘年会 新所沢東公民館 15:00</p>
<p>楽悠クラブ (甲田和巳 事前連絡は不要) 11月6日(火) 歌劇「シモン・ボッカネグラ」DVD鑑賞 12月11日(火) ① 総会 ② 喜歌劇「天国と地獄」DVD鑑賞 いずれの月も、(場)中央公民館#8・9 (時)13:30～</p>	<p>ドラマティック・カンパニー (八木雅子 2995-0148) 11月17日(土) 10:00～15:00 12月1日(土) 10:00～正午 『アントニーとクレオパトラ』を読み進めます。 会場：新所沢東公民館</p>
<p>地球環境に学ぶ (塚本二郎 2942-3117) 11月20日(火) 15時～定例会 新所沢東公民館 12月18日(火) " " 忘年会予定 両日共、各自発表及び新年度計画の話し合い。 ※傍聴歓迎します。お気軽にお立ち寄り下さい。</p>	<p>葵の会 (池田新八郎 2940-0711) 11月15日(木) 13:30～16:00 中央公民館7号 平家物語講座第8回 先帝身投げ 12月13日(木) 13:30～16:00 中央公民館7号 平家物語講座第9回 能登殿最後</p>
<p>地域の自然を考える会 (前岳良子 2928-7334) 11月25日(日) 収穫祭(糍谷) 11月27日(火) 里山整備(トトロの森12号地) 12月25日(火) 定例会</p>	<p>野老澤の歴史を楽しむ会 (山本苗子 2995-0876) 11月22日(木) みかん狩り(小手指南口よりバス、 早稲田大学正門10時20分集合) 12月2日(日) 熊野神社しめ縄造り見学(時間等未定) 12月20日(木) 定例総会、忘年会(時間等未定)</p>
<p>公園を楽しむ会 (渡部正俊 2921-3014) 11月22日(木) 「高尾山ハイキング」 12月20日(木) 定例会と忘年会</p>	<p>北政の会 (樋口俊夫 090-6483-7993) 11月17日(土) 第35回例会 13時20分 テーマ 「環境問題から見たドイツの国民性」 場所 新所沢東公民館 12月 休会</p>
<p>所沢の自然と農業 (高橋起彦 2924-2056) 11月8日(木) 例会：徳樹庵 12:30～ 11月23日(金) 横山農園下草刈 10:00～ 12月6日(木) 北鎌倉ハイキング 12月13日(木) 例会：新所沢公民館 13:00～</p>	<p>地域のまつり研究会 (影山洋 2921-8522) 11月12日(月) 9時～11時 新所沢東公民館 小鹿野歌舞伎参加者状況の最終検討会 11月17日(土) 小鹿野歌舞伎見学会の実施 (小鹿野町文化センター10時開演)</p>



料理コーナ

後藤律子

先日芋煮会の際に、好評を博したイモ団子の作り方を飯泉さんに教わりましたので紹介致します。

もちもち里芋団子



「材料」(4人前)

子芋 600g 又は親芋 700g、片栗粉 100g、上新粉 150g、塩少々(ペースト味付け用)、水又は茹で汁 50cc、(芋洗い用塩 小さじ1:分量外)

「作り方」

I 里芋のペーストを作る。(300g)

- ① 里芋は皮をむき、2cm角の大きさに切り、塩小さじ1をふりかけてこすり、2~3回水で洗いぬめりを取る。
② 鍋に芋と芋が浸る程度の水を入れて中火で茹でる。芋が鍋底にくっ付かないよう、ふたを取り1~2回かき混ぜながら柔らかくなるまで茹でる。
③ 柔らかくなったら茹で汁をきり、熱いうちにすりこ木、又はマッシャーで芋をつぶす。塩少々を入れ、混ぜながらよくつぶしマッシュポテト状態にする。

II 団子を作る。

- ① 里芋ペーストに片栗粉を入れ、よく混ぜさらに上新粉を入れ混ぜながらこねる。団子に丸めてみて、丸めにくいようなら、固さをみながら水を少しずつ加えてよくこねる。
② 1個15~20g位の大きさに丸め団子を作る。
③ 鍋に7分目位の水を入れ、沸騰してきたら弱火にし、②の団子を形を整えながら入れ、中火にして茹でる。浮き上がってきたら、2分間加熱した後、冷水に入れる。2~3回水を取り替えてぬめりを取り、冷やす。
④ 冷えたらザルに取り、水気を切る。
⑤ ごまだれ、あんこ、黄粉をかけていただきます。

一穂(すい)の芒添へたる茶屋の膳
多羅葉(たらふ)にいのりのこぼれ秋日濃し
知りつくすこの山の道茸狩
溪流の高き瀬音や秋深む
草生ふる古刹の屋根やこぼれ萩
畑仕事鋤き込む風も秋日和
川音を木の間がくれに山の秋
椎茸の吹き出す櫓木(ぼたぎ)山と積み
二度三度竿しならせて下り鮎
本堂の苔むす屋根や秋茜
千の風お留守でしようか秋彼岸

鈴木すぐる
鈴木 征子
岡本 博
粕谷 昇
河瀬 俊彦
小林 貞夫
小林 典子
佐藤 英子
佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代

道端を赤一色に彼岸花
朽ちかけし橋の袂の毒茸
秋川の流れをおほふ薄かな
たうたうと流るる中に鮎を釣る
リヤカーの錆のほひや露雀(つゆむぐら)
総門の苔むす寺や萩の道
秋の水跳ねて水車を廻しけり
秋風や登り上がれば鏡石
竹林のさやけし風や山女魚喰ふ
浮石に生るる水音秋の川

高橋 三郎
高橋 泉
利根川啓一
中村 直子
橋本 佑子
平栗 彰子
荒幡千鶴子
飯泉 陽子
井出 昇
海老澤愛之助

むさし野俳句会(二十四年九月) 作品抄

《 編集後記 》

◆ 原稿を書いてと頼まれたり、あるいは自分から書こうとすると急にナーバス(神経質)になり、気が滅入ってしまうのは、私だけでしょいか。それでも意を決し書き始めると、今度は何を書こうかと迷い、起承転結をしっかりと論理的に、などと考えてなかなか前に進みません。

◆ よくこんなことを聞かれます。「旅行先の京都はいかがでしたか?」「新しい住まいはいかがですか?」と。すると、京都の歴史はどうだったか、その日の天候は、電車は、風景、食事、ホテルは等々と、つい詳しく話そうと考え込んでしまいます。ところで、これらの質問が英語だったとしますと「How did you like the trip to Kyoto?」「How do you like your new house?」ともなります。これだ

と「京都の昔ながらの町並みが素敵でした」「新しい家の木の香りがたまらないですね」と、一番印象に残ったことを迷うことなく、気楽に答えるでしょう。これは聞く人に“強い印象”を与え“説得力”もあるのではないのでしょうか。

◆ みなさま、ご自分の心に強く残るものを、素直に原稿にしてみませんか。そして広報部にご投稿下さい。私たちの「広場」や「ホームページ」がさらに楽しくなり、強く読者を惹きつけることになるでしょう。心よりお待ち致します。

◆ さて、「ところざわ倶楽部はいかがですか」と聞かれたら、「最高ですね、楽しいです。加曾利さんや池田さんや島川さんなど、知己の会員に会うたびに必ず酒に誘われますから」と、私は答えます。

岡田俊吾